

西条の子育て支援拠点 ファンファン開設1年



一時預かりの子どもを見守る
ファンファン陽だまりの職員

一時預かりスタート

東広島市西条土与丸の商業施設ゆめタウン東広島内にある子育て支援拠点「コミュニティカフェfunfan（ファンファン）陽だまり」は今年、開設1年を迎えたのを機に、一時預か

りサービスを始めた。企業も参画し、地域交流拠点と

して事業を広げる。

認定NPO法人が運営

認知症 日 毎
公自動車学校 入校受付 082-422-1100

し、午後4〜7時の時間帯と日曜はカフェとして誰でも利用できるなど、オープンな運営が特徴。3歳以下の子どもと親がおもちゃで遊んだり、子育てに悩む親が相談したりできる登録制の「子育てひろば」事業を中心に活動し、延べ約800人が登録している。

開設当初から構想し、要望も多かった一時預かり。

12月下旬、同市八本松町の依田円さん(29)は長男紬(来ちゃん(1))を預けた。「買い物しながら子どもを抱いて歩くのは大変だった。1時間だけでも助かる」と喜んだ。3分250円。最大3時間利用できる。

市の補助や利用料で運営し、財源確保が課題だったが、積水ハウス(大阪市)が協賛企業として年60万円を拠出し、活動に弾みがついた。運営法人代表の市川マヤさん(54)は「学生たち若い世代も巻き込み、地域の人々が気軽に集う場所を目指したい」と意気込む。

(岩井美都)